

中小企業省力化投資補助事業

## 製品カテゴリ

令和8年4月16日

独立行政法人 中小企業基盤整備機構

# 1-5. 燃料補給等サービスシステム

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
1-5 -1	タブレット型給油許可システム	15件	小売業（ガソリンスタンド）	給油

2026年4月10日時点

## 例えばこんな場で、

- セルフ式ガソリンスタンド（顧客自らが給油するガソリンスタンド。以下、セルフSS）において、事務所内でしかできなかった給油許可が事務所内に限らずSS敷地内であれば可能になり、給油許可専用のスタッフを事務所内に常駐させる必要がなくなります。
- スタッフが他の業務に従事しながら給油許可ができるようになるため、待機時間の削減および人時生産性の向上が見込めます。

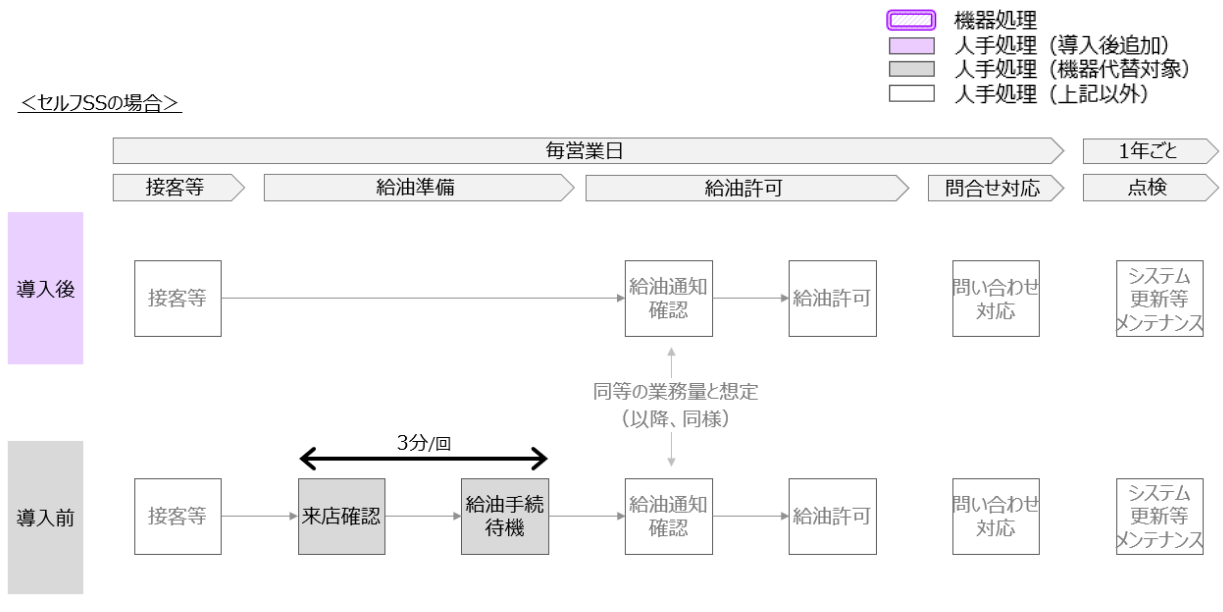
## 活用イメージ



※無断転載を禁ず

## 業務プロセスの変化（例）

来店確認、給油手続き待機が不要になります。



## 1-5. 燃料補給等サービスシステム

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
1-5 -1	タブレット型給油許可システム	15件	小売業（ガソリンスタンド）	給油

2026年4月10日時点

### 製品カテゴリの概要

セルフSSにおいて、来店客に対して行う給油許可行為をSS事務所内システム（固定式）とタブレット型システムを連動させることにより、タブレット型給油許可システムを用いて、事務所内に限らずSS敷地内であれば給油を許可することが可能となるシステム。

### 主に利用が想定される中小企業

主に給油許可専用のスタッフを事務所内に常駐させていたセルフSSの事業者。

### 省力化効果

SS事務所内でしかできなかった給油許可が、事務所内に限らずSS敷地内であれば可能となることで、オイル・タイヤ交換等の作業中であっても迅速に給油許可が出せるので作業効率が向上する。給油許可専用のスタッフを事務所内に常駐させる必要がなくなることで、給油許可以外の業務に従事させることができるなど人時生産性の向上による省力化が可能となる。

### 価格と導入費用（目安）

数百万円程度で導入可能。ビーコン等の設置および導入後の設定を行えばすぐに使用可能。

### 活用事例・ポイント

- メーカーヒアリングによる既存導入事例では、一般的なセルフSSにおいて、1か月あたり0.5人程度の省力化効果が得られた。

（製品イメージ）（例）



※無断転載を禁ず

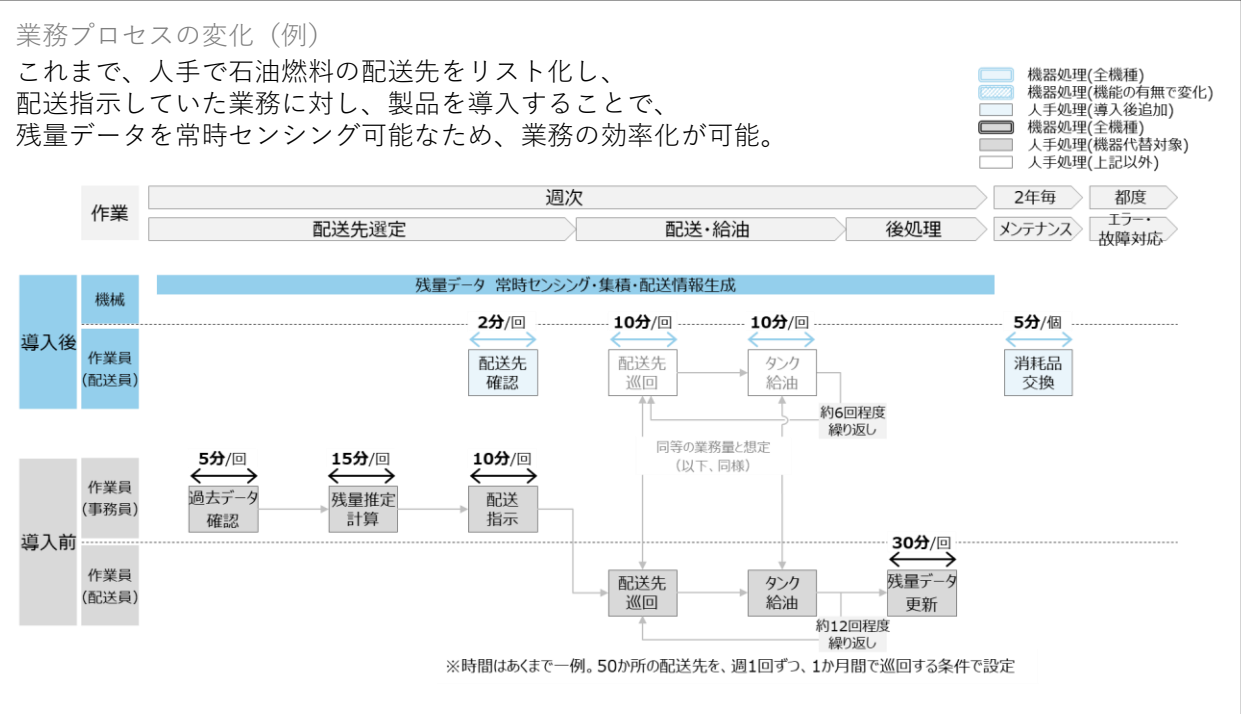
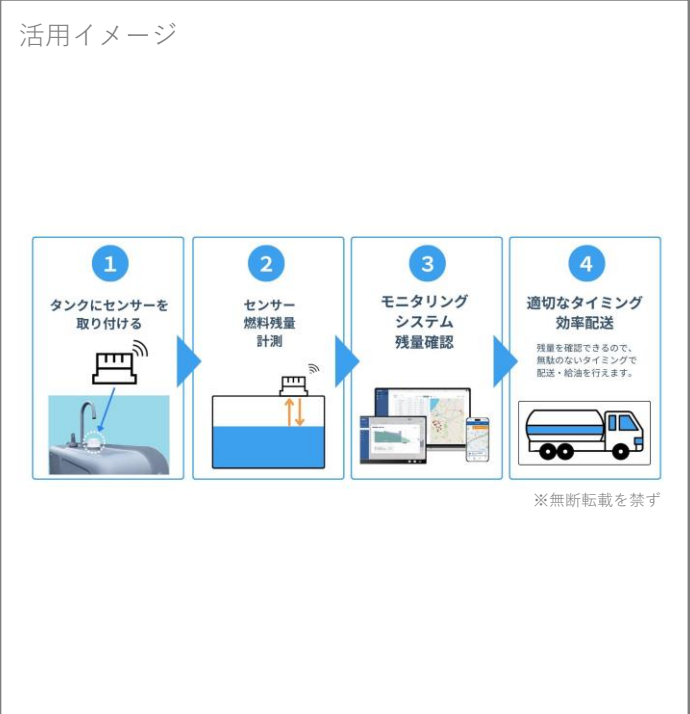
# 1-5. 燃料補給等サービスシステム

1-5 -2	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
	石油燃料 容量遠隔監視システム	0件	小売業	保管・在庫管理、入出庫、 運送・運搬

2026年4月10日時点

## 例えばこんな場面で、

- タンク残量を遠隔で常時把握することで
  - ✓ 必要なタイミングで補給スケジュールを自動生成することが出来ます。
  - ✓ 緊急補給の発生を減らし運用コスト低減が可能です。
  - ✓ 残量の可視化で在庫切れや異常消費を未然防止することができます。



## 1-5. 燃料補給等サービスシステム

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
1-5 -2	石油燃料 容量遠隔監視システム	0件	小売業	保管・在庫管理、入出庫、 運送・運搬

2026年4月10日時点

### 製品カテゴリの概要

IoTセンサーで容器内の対象物の残量状況を可視化し、回収・配送の最適化を実現するIoTソリューション。容器内対象物の境界面（液面等）を電磁信号や音波及び光学方式で測距し、取得データを無線通信で送信するIoTセンサー（製品本体）と、残量状況の可視化及びリスト化・手順化するクラウドシステムで構成される。

### 主に利用が想定される中小企業

主に灯油等を販売する中小企業者。

### 省力化効果

製品導入前は、配送指示者は過去のデータを参照し、手作業で配送先をリスト化、配送員に指示を行い、配送員はデータを元に、1人1日30~40件の配達を行い、週4~5回の配達を実施している。（配送件数=平均100件、月=400件）

導入後は、配送指示者はIoTセンサーの情報が自動反映されたシステムを使用して、優先度が高い配送先のリストをワンクリックで生成できるため作業時間を1/3程度に短縮可能。また、優先度の高い配送先に絞り込むことで配送件数を4割に削減し、配送員の稼働が縮減できる。

（配送総件数：1/2の場合、配送員は週5日→週2日稼働に削減できる）

### 価格と導入費用（目安）

センサー数50個単位で、80万円～  
（センサーの通信方式によって価格帯が異なる）

### 活用事例・ポイント

石油燃料容量遠隔監視システムは、タンク内の燃料残量をリアルタイムで把握し、補給時期を自動で通知することで巡回点検を削減。過不足のない燃料管理を実現し、緊急補給や燃料切れを防止するとともに、物流効率化に貢献する。

（製品イメージ）（例）



※無断転載を禁ず

製品カテゴリ

登録製品数 対象業種

対象業務プロセス

1-6  
-1

自動調色システム

7件

サービス業（他に分類されないもの）、  
小売業

アフターサービス

2026年4月10日時点

## 例えばこんな場面で、

- 従来は熟練の技術による手作業で行われていた調色作業を自動化することで、大幅な省力化が見込めます。
- 本機器を導入することで、経年劣化や紫外線等によって変化した車の色も、自動で調色することができ、修理作業時間の大幅な短縮が見込め、生産性向上が見込めます。

## 置き換えが可能となる機能・性能

- 干渉パール塗膜測定機能
- マット（艶消し）塗膜測定機能

## 活用イメージ



スケール



PC端末



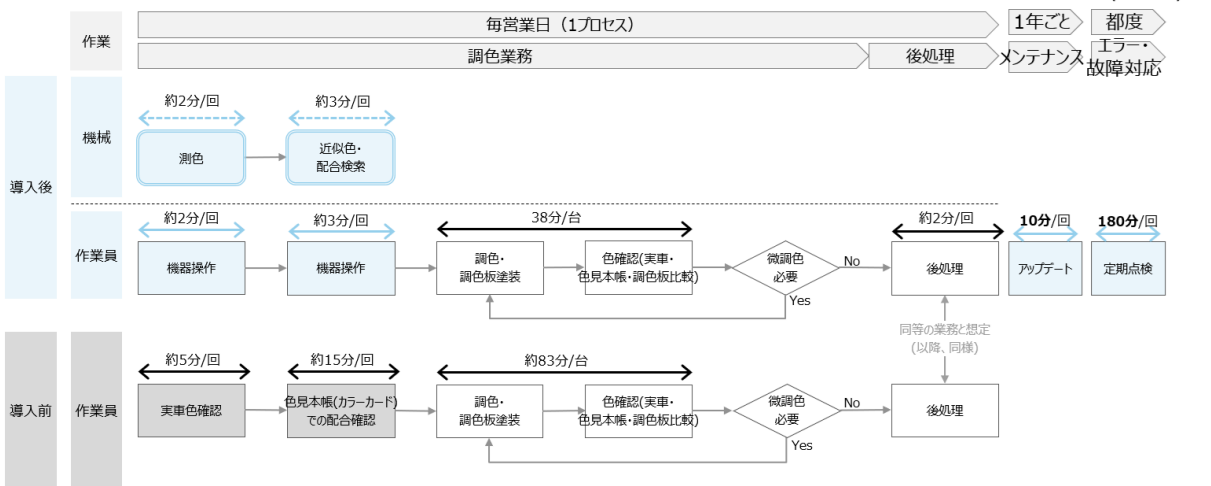
カラーセンサー

※無断転載を禁ず

## 業務プロセスの変化（例）

目視・手作業で行っていた調色作業に機器を導入することで、業務の削減が可能。

※時間はあくまで一例。業種や企業規模により増減する場合があります。



## 1-6. 自動車整備

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
1-6 -1	自動調色システム	7件	サービス業（他に分類されないもの）、 小売業	アフターサービス

2026年4月10日時点

### 製品カテゴリの概要

自動車のボディー等の色を自動で計測し、その色の配合を自動で算出するシステム。

### 主に利用が想定される中小企業

自動車車体整備を行う事業者。

### 省力化効果

従来まで、熟練技術による手作業で行っていた調色作業であるが、本機器を導入することで、車体を測色カメラで撮影・数値化し、より近似の配合を算出することで、経験の浅い作業員でも職人並み又はそれ以上の短時間で調色が行えるようになり、大幅な省力化が見込める。

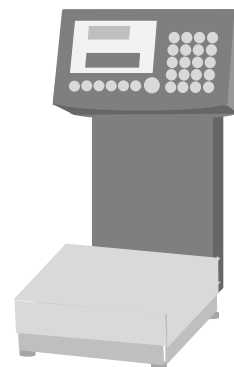
### 価格と導入費用（目安）

200万円程度から導入可能。基本的に導入後の設定を行えばすぐに使用可能。

### 活用事例・ポイント

自動車修理にあたり、経年劣化や紫外線による微妙な変化を考慮した配合を行う必要がある。本機器を活用し、車体を測色カメラで撮影・数値化し、より近似の配合を算出することで、経験の浅い作業員でも職人並み又はそれ以上の短時間で調色が行えるようになる。

（製品イメージ）（例）



スケール



PC端末



カラーセンサー

※無断転載を禁ず

# 1-6. 自動車整備

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
1-6 -2	自動車向け溶接機（スポット溶接機）	19件	自動車整備業	整備・修理

2026年4月10日時点

## 例えばこんな場面で、

- 本機器を活用し、自動車の鉄板が重なっている箇所を溶接する際、プラグ溶接からスポット溶接へ変更することで、品質向上や工程の短縮、作業ミス削減といった大幅な省力化が見込めます。
- スポット溶接機は溶接パラメータを自動的に設定するため、溶接条件の設定ミスがなく、ヒューマンエラーを大幅に減らすことができます。これにより、溶接不良や手直しの頻度が下がり、生産性の向上も見込めます。

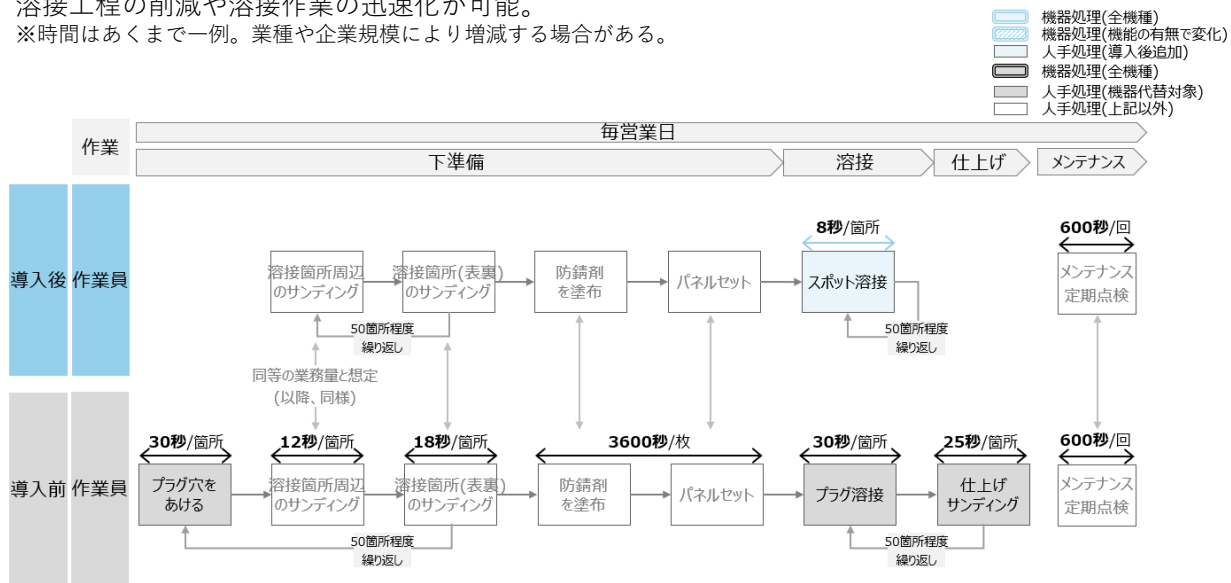
## 活用イメージ



※無断転載を禁ず

## 業務プロセスの変化（例）

スポット溶接機を導入することで、導入前のプラグ溶接に比べ、溶接工程の削減や溶接作業の迅速化が可能。  
※時間はあくまで一例。業種や企業規模により増減する場合がある。



## 1-6. 自動車整備

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
1-6 -2	自動車向け溶接機（スポット溶接機）	19件	自動車整備業	整備・修理

2026年4月10日時点

### 製品カテゴリの概要

自動車向けの溶接機は、自動車の钣金修理に特化して溶接を行える設備である。自動車に穴が空いたり、傷が出来た際に修理に活用することができる。スポット溶接機は主に鉄板が重なっている箇所を溶接する。また、自動車向け溶接機は自動車に特化していない溶接機と比較し、自動で厚みや抵抗値が設定され、スムーズな溶接が可能となる。

※アームありの製品（1種のみ）及び、アームなし製品の場合はアーム1種を必ず併せて登録される製品を対象とする

### 主に利用が想定される中小企業

自動車車体整備を行う事業者。

### 省力化効果

自動車に特化していない溶接機から自動車向け溶接機（スポット溶接機）を導入することで、溶接工程の削減、作業ミスの削減、作業の迅速化等により大幅な省力化を図ることが可能である

### 価格と導入費用（目安）

300万円程度から導入可能。基本的に導入後の設定を行えばすぐに使用可能。

### 活用事例・ポイント

自動車の鉄板が重なっている箇所を溶接する際、スポット溶接機の導入により、プラグ溶接からスポット溶接へ変更することで、品質の向上だけでなく、作業ミスの削減や工程の短縮といった大幅な省力化が見込める。

（製品イメージ）（例）



※無断転載を禁ず

# 1-6. 自動車整備

製品カテゴリ

登録製品数 対象業種

対象業務プロセス

1-6  
-3

自動車向け溶接機（パルス制御溶接機）

0件

自動車整備業

整備・修理

2026年4月10日時点

## 例えばこんな場面で、

- パルス制御により、温度を最適（高温や低温）に調整しながら溶接することで、品質不良による手直しが減少し、生産性の向上および省力化が見込めます。
- 自動で設定される溶接条件により、溶接設定のミスが減少し、作業者によるヒューマンエラーのリスクが低減され、生産性向上が見込めます。

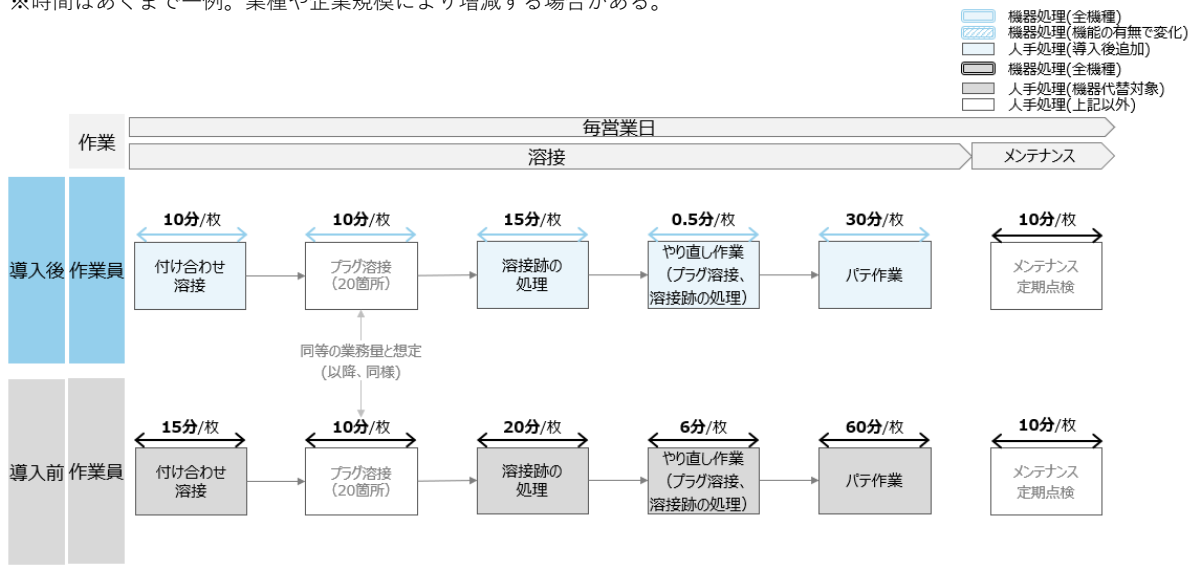
## 活用イメージ



※無断転載を禁ず

## 業務プロセスの変化（例）

パルス制御溶接機を導入することで、導入前のパルス制御ではない溶接機に比べ、作業品質の向上により溶接前後の作業時間の短縮が可能。  
※時間はあくまで一例。業種や企業規模により増減する場合があります。



## 1-6. 自動車整備

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
1-6 -3	自動車向け溶接機（パルス制御溶接機）	0件	自動車整備業	整備・修理

2026年4月10日時点

### 製品カテゴリの概要

自動車向けの溶接機は、自動車の钣金修理に特化して溶接を行える設備である。自動車に穴が空いたり、傷が出来た際に修理に活用することができる。パルス制御溶接機は物理的に鉄板が挟めない箇所の溶接を行う。また、自動車向け溶接機は自動車に特化していない溶接機と比較し、自動で厚みや抵抗値が設定され、スムーズな溶接が可能となる。

### 主に利用が想定される中小企業

自動車車体整備を行う事業者。

### 省力化効果

自動車に特化していない溶接機から自動車向け溶接機（パルス制御溶接機）を導入することで、溶接工程の短縮、作業ミスの削減、作業の迅速化等により大幅な省力化を図ることが可能である。

### 価格と導入費用（目安）

200万円程度から導入可能。基本的に導入後の設定を行えばすぐに使用可能。

### 活用事例・ポイント

自動車のボディ構造やフレーム部分など、非常に高い精度で溶接を行う必要がある部位の修理で使われる。パルス制御により、溶接電流を細かくコントロールできるため、均一で安定した溶接品質が実現できる。

（製品イメージ）（例）



※無断転載を禁ず

# 1-6. 自動車整備

製品カテゴリ

登録製品数 対象業種

対象業務プロセス

1-6  
-4

自動車向け塗装ブース

1件

自動車整備業、小売業

整備・修理

2026年4月10日時点

例えばこんな場面で、

- 自動車の板金修理後や再塗装の際に、安定した品質で塗装作業を行いたい場面で活用できます。
- 例えば、塗装中のゴミの混入や塗料ミストの飛散を防ぎたいときや、塗装後の乾燥を効率よく行いたい整備工場に適しています。

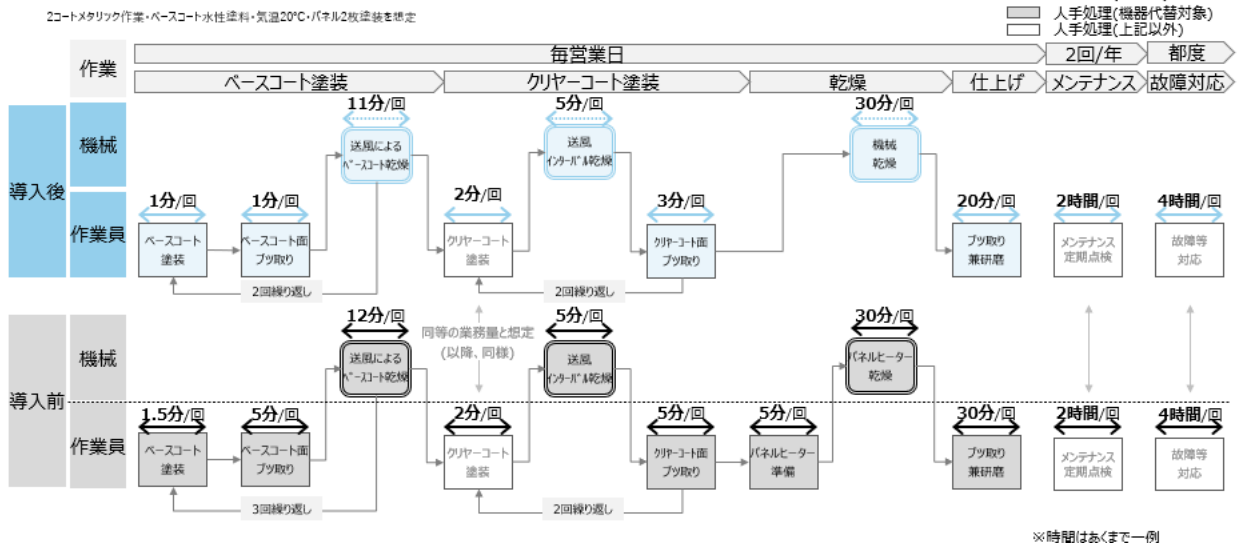
活用イメージ



※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化 (例)

本機器の導入によりクリーンな作業環境を実現し、主にベースコートの塗装やブツ取り時間の短縮、塗装回数の削減により省力化を図る



# 1-6. 自動車整備

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
1-6 -4	自動車向け塗装ブース	1件	自動車整備業、小売業	整備・修理

2026年4月10日時点

## 製品カテゴリの概要

塗装ブースは、自動車の塗装作業を行うための専用の密閉空間を提供する設備です。車両1台を丸ごと収容でき、塗装作業中のゴミの侵入や有機溶剤を含む塗料ミストの拡散を防ぐ機能を持ちます。本カテゴリでは、プッシュプル型換気装置と車体塗装後の乾燥装置（温風方式もしくはヒーター方式）を備えた設備とする。

## 主に利用が想定される中小企業

自動車車体整備を行う事業者。

## 省力化効果

本装置は、換気と乾燥機能を備えた密閉型の塗装空間を提供する設備であり、塗装環境を最適化することにより塗装品質のばらつきを抑えることができる。従来のビニールブースと比較して、周辺環境の塵・埃が少ないため、ブツ取りによる再塗装や後処理が必要な塗装面積が少なくなり、作業時間の短縮にも寄与する。乾燥工程においても品質とスピードが向上するため、全体として作業工程の効率化が図られる。

## 価格と導入費用（目安）

650万円程度から導入可能。

## 活用事例・ポイント

塗装中の異物混入を防ぐ密閉空間と、塗装後の乾燥まで一貫して行える構造である点がポイントである。特にプッシュプル型換気装置によって塗装ミストの拡散を抑え、作業環境の安全性向上にもつながる。乾燥装置を備えているため、天候や季節に左右されることなく一定の仕上がり品質が得られる。

（製品イメージ）（例）



※無断転載を禁ず

# 1-6. 自動車整備

製品カテゴリ

登録製品数 対象業種

対象業務プロセス

1-6  
-5

自動車両洗浄機

5件

運輸業、小売業、製造業、自動車整備業、  
廃棄物処理業、物品賃貸業

洗車・洗浄

2026年4月10日時点

例えばこんな場面で、

- 運送業者において、複数台の車両を毎日洗車する必要がある場合に、自動車両洗浄機を活用することで、従業員の手洗い作業にかかる負担を減らし、作業時間を短縮できます。
- ガソリンスタンドやレンタカー事業者などでも、車両の美観維持と回転率向上のために導入されるケースが多く、安定した品質の洗浄を短時間で行うことができます。

置き換えが可能となる機能・性能

- 洗浄強化機能
- 乾燥強化機能
- コーティング機能

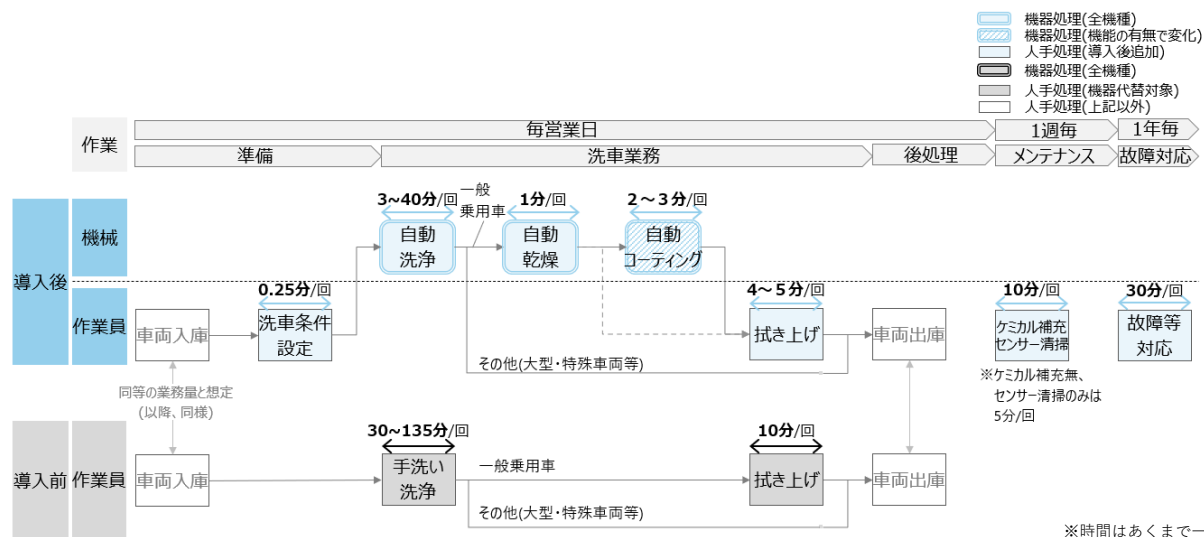
活用イメージ



※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化 (例)

自動車両洗浄機により洗浄や拭き上げ作業の削減が可能



# 1-6. 自動車整備

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
1-6 -5	自動車両洗浄機	5件	運輸業、小売業、製造業、自動車整備業、 廃棄物処理業、物品賃貸業	洗車・洗浄

2026年4月10日時点

## 製品カテゴリの概要

車両を自動で洗浄する設備を示す。主に対象となる洗浄車両は、乗用車タイプ(普通車)、バス・トラックなどの大型タイプ、ローリーやパッカー車などの特殊車両など。従業員が車両を預かり自動車両洗浄機にセットし洗浄を行うフルサービス式の洗浄機

## 主に利用が想定される中小企業

洗車業務が頻繁に発生し、従業員が手洗いで対応していた事業者。

## 省力化効果

自動車両洗浄機を導入することで、手洗いで30分以上を要していた洗浄作業と拭き上げ作業にかかる時間(10分程度)が大幅に削減される。製品によっては洗浄・乾燥を自動で行えることから、作業員による作業が最小限となり、時間・労力の両面で省力化が可能である。特に大型車両や汚れの多い車両では洗浄時間が長くなる傾向にあるため、省力化製品の導入することで、より多大な省力化効果が期待できる。

## 価格と導入費用(目安)

600万円~1,500万円(普通車用・大型車用・特殊車両用などモデルによる違いと、センサー数やブラシ種類・動作等制御の方式によって異なる)

## 活用事例・ポイント

運送業者では、配送業務の合間に効率よく車両を洗車できる体制づくりに活用されている。2024年問題による拘束時間短縮にも対応する有効な手段となっている。整備工場では、車検・点検後の納車前サービスとしての洗車作業を、品質を保ちつつ省力化できることが期待される。

(製品イメージ) (例)



# 1-6. 自動車整備

製品カテゴリ

登録製品数 対象業種

対象業務プロセス

1-6  
-6

自動車用全自動フロンガス  
回収・充填装置

6件

自動車整備業、小売業

整備・修理

2026年4月10日時点

## 例えばこんな場面で、

- 夏季などにカーエアコンの整備依頼が集中する時期、作業の合間にフロンガスの回収・充填をスムーズに進めたい場面で活用できます。
- 車両に装置を接続し、ボタン操作のみで自動的に回収から充填までが完了するため、整備士が他の点検作業に専念できるようになります。

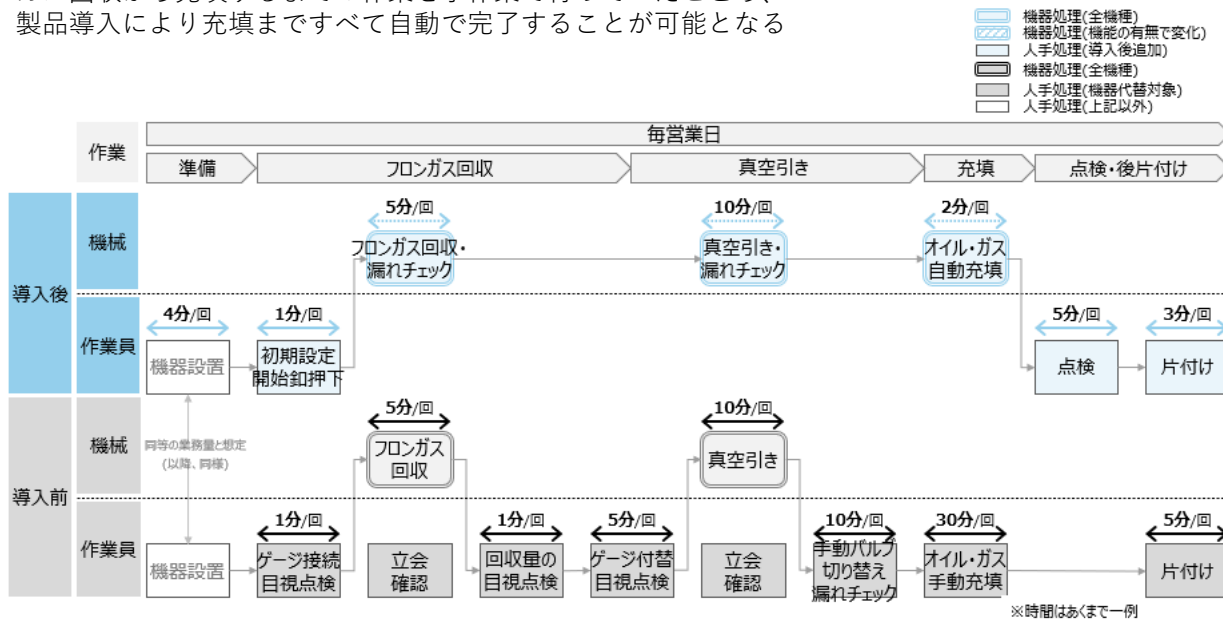
## 活用イメージ



※無断転載を禁ず

## 業務プロセスの変化（例）

ガス回収から充填するまでの作業を手作業で行っていたところ、製品導入により充填まですべて自動で完了することが可能となる



- 機器処理(全機種)
- 機器処理(機能の有無で変化)
- 人手処理(導入後追加)
- 機器処理(全機種)
- 人手処理(機器代替対象)
- 人手処理(上記以外)

## 1-6. 自動車整備

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
1-6 -6	自動車用全自動フロンガス回収・充填装置	6件	自動車整備業、小売業	整備・修理

2026年4月10日時点

### 製品カテゴリの概要

自動車エアコンシステム（カーエアコン）に使用されているフロンガスを回収し、新たなフロンガスを充填する専用機器。自動車整備工場での使用を前提に設計され、冷媒の規格（R134aやR12など）に対応。フロン排出抑制法に基づく第一種特定製品の管理が必要となる。また、フロンガスはR-1234yfという新しい規格になり、既存のフロンガス回収機では対応できないため新しいフロンガス回収機への更新が必要となる。複数のフロンガスの規格への対応が可能な兼用機、一つの規格にのみ対応した専用機がある。本製品は自動回収・充填機能を有した自動車用の全自動フロンガス回収機で、ガス漏れ診断機能を有する製品を本カテゴリの対象とする。

### 主に利用が想定される中小企業

自動車整備事業者やフロン排出抑制法への対応や新冷媒規格への設備更新が求められる事業者。

### 省力化効果

本製品の導入により、従来の目視点検や手動によるバルブ切り替えなどの作業が不要となる。ガスの回収から再充填までを一括して自動化できるため、作業時間が大幅に短縮され、作業者の負担も軽減される。

### 価格と導入費用（目安）

100万円～300万円（使用できるフロンガスの種類によって異なる）

### 活用事例・ポイント

本装置は、ガスの漏れ診断や冷媒規格への自動対応機能を備えている点が特徴である。操作が簡便であるため、少人数で運営している自動車整備工場でも導入しやすく、繁忙期でも安定した業務遂行が可能となる。特に経営者が高齢であったり、従業員が少数であったりする地域整備工場において、業務の安定化・継続性に寄与する。

（製品イメージ）（例）



※無断転載を禁ず